

フルート奏者 吉岡次郎の 極上の室内楽シリーズ、 待望の第4弾!!

吉岡次郎が贈る、極上の室内楽。

吉岡次郎 室内楽シリーズIV
Jiro Yoshioka Chamber Music Series IV

vol. 4



J.S.BACH: "Non sa che sia dolore" Cantata BWV 209 - 1. Sinfonia
J.S.バッハ: 世俗カンタータ 第209番「悲しみを知らぬ者」より シンフォニア

W.F.BACH: Duo No. 4 in F Major
W.F.バッハ: デュオ 第4番 へ長調

A.ROUSSEL: Trio for Flute, Viola and Cello, op. 40
ルーセル: フルート、ヴィオラとチェロのためのトリオ 作品40

F.KROMMER: Oboe Quartet No.1 in C Major
クロンマー: オーボエ四重奏曲 第1番 八長調

J.C.BACH: Oboe Quartet in B Flat Major
J.C.バッハ: オーボエ四重奏曲 変口長調

A.DVORAK: Quartet No. 12 in F major "American"
ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲 第12番 へ長調「アメリカ」(フルート四重奏版)

オーボエ
渡辺 克也

Katsuya WATANABE
(ソリスツ・ヨーロピアンズ・ルクセンブルク首席)



ヴァイオリン
磯 絵里子

Eriko ISO
(ソリスト)



ヴィオラ
安部 恵麻

Ema AMBO
(広島交響楽団首席、神奈川フィル契約首席)



チェロ
長谷川 彰子

Akiko HASEGAWA
(新日本フィル首席)

2019. **8.27** 火 19:00開演 (18:30開場) **杉並公会堂小ホール**

チケット取扱い | T&N企画 03-4477-5654 (取扱時間 10:00-18:00)
<https://tandn-plan.jp/> info@tandn-plan.jp (メール)

一般前売 | 5,000円 当日 | 5,500円
学生前売 | 2,500円 当日 | 3,000円

主催 | T&N企画
後援 | スイス大使館
(公財)千葉交響楽団



フルート
吉岡 次郎 Jiro YOSHIOKA

東京都出身。武蔵野音楽大学卒業後、1999年スイスに留学。2002年パーゼル音楽大学大学院にて、国家演奏家資格を最優秀の成績で取得し卒業。在学中ジュネーブにて、現代音楽専門の室内オーケストラ「Ensemble Contrechamps」のメンバーとして演奏会に参加。2002-03年 パーゼル交響楽団研修団員。その後カールスルーエ音楽大学にて室内楽を学ぶ。2004年帰国。第12回日本フルートコンヴェンションコンクール・ピッコロ部門第2位、第3回東京音楽コンクール木管部門 最高位入賞。津田ホール、東京文化会館、オペラシティ、パリ・サンマルセル教会他、国内外で定期的にソロ・リサイタルなどの演奏活動を行う。協奏曲のソリストとしてこれまでに名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、N響有志オーケストラ等と共演。2008-09 神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約首席奏者。2010-11年度(財)地域創造「公共ホール音楽活性化事業」登録アーティスト。2011年シュニーター作曲「フルートと打楽器のための協奏曲」を日本初演。2015年F.レングリ氏とデュオ・リサイタルを開催。2017年伊伊桑(コン・イサン)生誕100年記念の誕生日にフルート協奏曲を特別編成オーケストラと共演、並びにカール・ヴァインのフルート協奏曲「笛は夢見る」を日本初演。2018年ニューヨーク、カーネギーホール・ウェルリサイタルホールにてソロリサイタルを開催。これまでに5枚のCDアルバム「マンハッタンの風」、「ドビュッシー ×ラヴェル“双壁の風”」、「疾風怒濤(ライブ録音)」、「アシュグの唄」、「ソナチネ」をリリース。フルートを白尾隆、フェリックス・レングリ、笠井 潔、レナーテ・グライス＝アルミンの諸氏に師事。現在はソリスト、室内楽奏者、オーケストラの客演奏者として演奏活動する他、後進の指導を行っている。桐朋学園芸術短期大学音楽専攻、洗足学園音楽大学講師。(公財)千葉交響楽団、シアターオーケストラトキーフルート奏者。www.jiroyoshioka.com

オーボエ
渡辺 克也 Katsuya WATANABE

東京藝術大学卒業。在学中に新日本フィルに入団。89年Sony Music Foundation主催第1回国際オーボエコンクールに入賞。90年第7回日本管打楽器コンクールで優勝、併せて大賞を受賞。91年より渡独、ヴッパータール響、カールスルーエ州立歌劇場管、ベルリン・ドイツ・オペラの首席奏者を歴任。特に11年間在籍したベルリン・ドイツ・オペラでは、当時音楽監督ティエレマンの絶大な信頼のもと、ドイツの新聞各紙に「オーケストラの中の希望の光」等と高い評価を得る。現在はソリスト・ヨーロピアンズ・ルクセンブルグの首席奏者として活躍中。CDリリースも多数。オーボエの本格的オリジナル曲ばかりを集めたCDシリーズとして、08年「インプレッション」、2010年「サマー・ソング」、12年「ポエム」、14年「ロマンス」、16年「パストラル」をドイツと日本で同時に発売。特に「インプレッション」「サマー・ソング」「ロマンス」の3作は『レコード芸術』誌で「特選盤」となり、また新聞各紙でも紹介されるなど各方面で絶賛を博している。また最新CD「ウイングス」を2018年初夏にリリースした。ソリストとしてスロヴァキア・フィル、ハンガリー放響、ザグレブ・フィル、都響、神奈川フィル、群響、名古屋フィル、大阪センチュリー響、山形響、日本フィル等と共演を重ねる。2010年秋より2013年3月まで、産経新聞にて「渡辺克也のベルリン音楽旅行」を連載。さらに2013年4月より、平凡社のウェブマガジン「ウェブ平凡」にて「オーボエ吹きの休日 ベルリン音楽だより」を好評連載中。2011年には第28回日本管打楽器コンクール・オーボエ部門の審査委員長を務めた。洗足学園音楽大学客員教授として、若手の育成に努めている。ベルリン在住。http://www.katsuyawatanabe.com



ヴァイオリン
磯 絵里子
Eriko ISO

桐朋学園大学卒業後、その才能を高く評価したI. オイストラフ氏に招かれ、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学。修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。ソリストとして日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、神奈川フィル、チェコフィル、フランダース放送響他国内外のオーケストラと多数共演し、「知性と感性と技術の実力派」と高い評価を得る。宮崎国際音楽祭へは毎年参加、「題名のない音楽会21」「アインシュタインの眼」「クラシック倶楽部」ほかテレビ・ラジオ出演も多く、2010年よりFMヨコハマ「磯 絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務めている。ソロ活動に加え、「デュオ・プリマ」「EnsembleΦ(ファイ)」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。アウトリーチ活動にも積極的に参加している。一財)地域創造公共ホール活性化支援事業登録アーティスト。現在9枚のCDが好評発売中。洗足学園大学講師として後進の指導にもあたっている。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。http://www.34-net.com/eriko/



ヴィオラ
安部 恵麻
Ema AMBO

4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。高校入学と同時にヴィオラへ転向。卒業時に同声会賞を受賞。'97年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。'99年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭in紋別、イタリア・チェルポ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。NHKハイビジョン音楽館などのテレビ、ラジオ番組にも出演。その他、スタジオミュージシャンとしても、多数の楽曲に携わっている。また'09年8月2日、マツダスタジアムで始球式を務めた。'01年~'05年3月まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を務める。'05年4月に広島交響楽団首席ヴィオラ奏者に就任。'17年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団客演首席ヴィオラ奏者を兼任。横浜シンフォニエッタのシーズンメンバー。広島交響楽団では、定期演奏会等でソリストも数多く務めている。これまで、ヴァイオリンを故・鷲見康郎、津田順子の各氏に、ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、小野富士、市坪俊彦、ジャン・シュレムの各氏に、室内楽を北本秀樹、岡山潔、荻田雅治、田中千香士、小林道夫、生沼晴嗣の各氏に師事。



チェロ
長谷川 彰子
Akiko HASEGAWA

岐阜県多治見市出身。愛知県立芸術大学を首席で卒業。桑原賞、併せて中村桃子賞受賞。2006年度日本演奏連盟主催新人演奏会に出演し名古屋フィルハーモニー交響楽団とハイドンのチェロ協奏曲第2番を協演する。大幸財団より奨学金を受ける。2007年リゾナーレ室内楽セミナーにて音楽賞受賞。第77回日本音楽コンクール第3位。2010年9月よりロームミュージックファンデーションより奨学金を受けドイツへ留学、ライブツィヒ音楽演劇大学修士課程を最高点で卒業。2013年東京芸術大学修士課程首席卒業。これまでに中島頭、天野武子、河野文昭、山崎伸子、ペーター・ヘルの各氏に師事。九州交響楽団チェロ首席奏者を経て、現在、新日本フィルハーモニー交響楽団チェロ首席奏者を務める。